

2018年8月6日

朝礼の話 (2018年8月)

皆さんお早うございます。先月は、異常な気候が続きました。上旬に西日本を襲った記録的豪雨があり、梅雨明け後、全国的に過去に例のない異常な猛暑、酷暑を記録しました。月末に日本列島にやってきた台風12号は、東から西に向かう異例のルートを辿りました。関東地方に接近した後西進し、三重県伊勢市付近に上陸しました。近畿と中国地方を東から西に横断し、熊本県天草市付近から東シナ海に抜けました。西日本豪雨は、梅雨前線の停滞、太平洋高気圧の位置、大量の水蒸気を含んだ空気の流入など複合的な要因が重なり、西日本の広い範囲で長時間に亘り、記録的な大量の雨が降り、河川の氾濫や土砂崩れなどの災害が発生しました。広島県、岡山県、愛媛県を中心に14府県で死者210名、安否不明者50名以上、被害住宅26,500棟の甚大な豪雨災害となり、政府は、豪雨では初めてとなる「特定非常災害」に指定しました。記録的な猛暑、酷暑は8月に入っても続いています。気象庁は今後1ヶ月も暖かい空気に覆われ、全国的に気温が平年より高くなると予想しています。熱中症への対策、対応がかかせません。取引先への訪問など日中外出する場合も適度に涼しい場所で休憩を取り、水分補給を十分に取るようにしてください。

トランプ米大統領は1日、2千億ドル分(約22兆円)の中国製品を対象とした第3弾の対中制裁を巡り、追加する関税率を当初の10%から25%に引き上げるよう米通商代表部(USTR)に検討するべく指示しました。11月に中間選挙を控え、人気取り効果が高いと踏み、対中強攻策を一段と強化、中国への圧力を強めています。第一弾は、7月6日に340億ドル分の中国製品に25%の追加関税を課す対中制裁を発動しました。対象品目は、自動車、産業用ロボット、半導体、医療機器など818品目となっています。中国もすぐに同規模の報復に踏み切りました。中国は米国の大豆、牛肉など農産品を中心に545品目に追加関税を課しました。第二弾は、プラスチック製品、半導体など284品目、160億ドル分の中国製品に25%の追加関税を課すとしており、今月中に第一弾の追加措置として発動する見通しであります。中国も原油、天然ガス、石炭など114品目、160億ドル分の報復関税を発表しました。第三弾は、6,000品目で食料品、かばんなど消費財が含まれており、米国経済にとっても悪影響が避けられません。USTRは制裁関税第三弾について、民間からの意見を9月5日まで受け付けると表明しており、第三弾の発動時期は9月以降となる見通しであります。中国は、米国の第三弾制裁関税の発表を受け、600億ドル分の米国製品に最大で25%の追加関税をかける報復措置を発表しました。米国の中国からの輸入は、約5,000億ドル、中国の米国からの輸入は、約1,300億ドルであります。米中貿易は、01年の約800億ドルから17年に約7倍に拡大しました。世界の貿易の拡大を牽引し、グローバル経済の成長を支えて来ました。世界第一、第二の経済大国が貿易戦争を起こしています。貿易戦争に勝者はいないが歴史の教訓であります。当事国のみならず第三国にもさまざまな悪影響を及ぼします。世界同時不況とならぬ前に終結することを願っています。以上